



災害・事故 報告書

関係者		引込センター		東部協力会	
		安協会長	社 長	安協会長	社 長
					

受 信	岡崎電気引込工事センター	年 月 日
	東部協力会	年 月 日
発生日時	令和4年 5月 11日(水) 10時 50分頃 天候 晴	
災害・事故の種類	感電 墜落 傷害 交通 <u>停電</u> 計器 物損 その他	
発生場所	場 所	電柱番号
関係者・作業員	直営(<u>専任班</u> ・協力班) 協力工事店 A B C 死亡 負傷	
	工事店名	氏名 年齢 54

1. 概 要

柱上接続時にC2相とN相を短絡させた。

2. 発生状況

- 5月11日当日、班長ほか作業員3名で朝8時朝礼後KYを行い本日の引込工事の概要を班長から説明を受ける。
- 10時30分、班長ほか作業員3名現場に到着し電柱番号を確認。
TBM、KYをして工事伝票で作業内容を確認し作業開始。
- 作業員AとBでDV線をメッセン分岐配線ポール接続後、作業員Aが電柱側リード線N相C2相のテープを剥がしミニPJでN相を接続締め付け途中にラチェットの端がC2相に当たり短絡。
作業員Aがバケット上から短絡したことを班長に報告したが内容が伝わってなかった。
- 作業員Aが一時DV線を外し検電器とテスターで電圧が出ているのを確認して柱上側は異常が無かった為DV線を再接続して作業終了。

災害・事故 報告書

- 5) 次の現場に向かう途中、11時25分、中部電力PG様より班長へ電話が入る。
お客様より停電になっていると中部電力PG様に連絡が入っているとのこと。
- 6) 12時前に、班長ほか作業員3名で現場に戻り、近隣のお客様のメーター動作を確認した結果、ブレーカーが落ちていることが判明。12時10分頃、中部電力PG様3名現場に到着し、調査開始。
その結果、8軒中、4軒はお客様が復旧作業をし、1軒はアルソックが復旧作業をしてくれたとのこと。
13時10分頃、当日の残り工事の作業のため、現場を離れ、17時半頃、不在のお客様の謝罪のため、中部電力PG様2名と班長で現場待機。18時頃、1軒の不在のお客様が帰宅され、謝罪。
残りのアパート2軒は、18時半頃、電話で連絡が付き、謝罪し、停電したことを了承して頂いた。

災害・事故 再発防止策

2) に対し 班長ほか作業員3名でKYにて防護シートを使用することを確認せず。今後は、確認を徹底する。

3) に対し 原因は、①作業員Aが防護シート取付の際、狭く、取付がしづらかったため、取り付けずに作業した。

今後は、防護シートを必ず使用することを徹底する。

②班長も作業を見過ごしたため、作業確認を徹底する。

③作業員Aからの班長への伝達ができなかったため、今後は、地上に降りて伝達できているか確認する。

班長は、内容を確認し、速やかに中部電力PG様に連絡をする。

④作業員Aが電線接続する時、ラチェットレンチがG2線に接触したため、ラチェットレンチも絶縁する。

⑤作業員Aが新品のミニPJを持たずにバケットに乗ってしまったため、仮設だったこともあり、たまたま、腰袋にあった中古のミニPJを使ったため、絶縁していないラチェットレンチを使用して、短絡してしまった。今後は、新品のミニPJを使用徹底する。

4) に対し 作業員Aは、柱上のみの確認で、当該柱のメーター、変圧器柱のメーター動作確認をしなかったため、今後は、内容を班長に確実に報告する。

班長は、中部電力PG様にすみやかに報告して、指示に従う。